

# 平成22年度 お茶の水幼稚園の教育についてのアンケート集計結果

平成 23 年 1 月 31 日  
千代田区立お茶の水幼稚園  
園長 小林 勇司

調査人数	34名
回収枚数	34名
回収率	100%

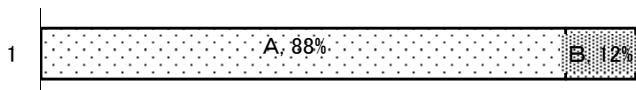
A:とてもそう思う・よくあてはまる  
B:そう思う・だいたいあてはまる  
C:あまり思わない・あまりあてはまらない  
D:まったく思わない・まったくあてはまらない

## 【本園の教育目標】

本園の教育目標は「あかるく げんきなこ」「なかよく あそぶこ」「よくかんがえ やりぬくこ」です。この教育目標を達成するために以下のような 指導を行っています。

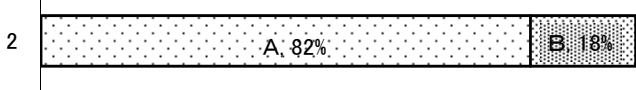
### 1 あかるくげんきなこ

幼稚園生活を楽しみながら、健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんだりするような活動が行われていると思いますか。



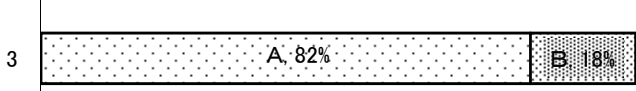
### 2 なかよくあそぶこ

先生や友達とかかわりをもちながら幼稚園生活を楽しんだり、ルールや約束を守って生活したりするような配慮がされていると思いますか。



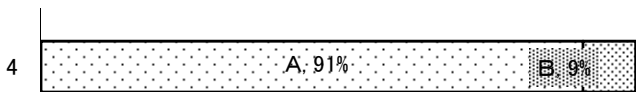
### 3 よくかんがえやりぬくこ

いろいろなことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして、達成感を味わえるような教育がされていると思いますか。



### 4 一人一人を大切にできる教育①

全教職員で全園児を見守っていくチーム保育を実践しています。担任以外の先生にも触れる機会が多いのは、よいと思いますか。



## アンケートの結果を受けて 園長 小林 勇司

今年度は特に、体を動かすことを楽しめるように錦華公園での過ごし方に工夫をしました。登園後、音楽に合わせて公園の中を走ること、体が温まり、戸外での遊びの楽しさをより感じられるようになってきました。「公園を走り回っている子どもたちの姿に元気をもらいます。健康になれそう！」というご意見をいただきました。

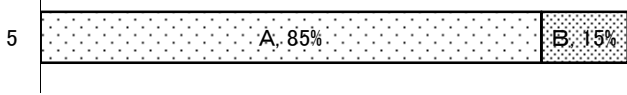
幼稚園は人生における社会生活の第1歩です。自分とは考えの違う相手の存在に気づき、みんなで過ごす生活の心地よさを感じていきます。その中で、守らなくてはいけないルールがあることを知っていきます。また、約束を守るだけでなく、自分で考え、判断できる子どもの

「わが子はこの教育目標まで達していないと感じる」というご意見をいただきました。教育目標は3年間を通し、最終的に目標にしている子どもの姿です。3歳児では、自分の好きなことを繰り返し楽しむ中で、より遊びを楽しくするために考えること。4歳児では、むずかしそうに見えることにも挑戦し、どうしたらよいか考えて解決していこうとすること。5歳児では、自分の目的に向かって友達と協力して取り組んだり、与えられた課題に向かって考えること

複数の教職員が子どもたちとかかわること、その子ども一人ひとりの良さをたくさん見つけることができ、より良い指導の方法を探っていくことができます。教職員全員が全園児の担任という気持ちで、チーム保育を行っています。

5 一人ひとりを大切にする教育②

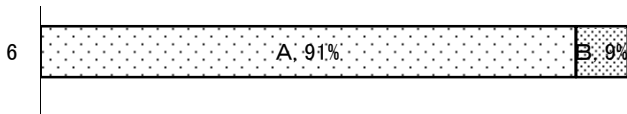
教職員は、一人ひとりの子どもをよく理解し、子どもの性格や長所を把握して、指導に当たっていると思いますか。



お茶の水幼稚園では、教職員がスクールカウンセラーや巡回相談員をまじえ、一人ひとりの子どもの良さととの指導の方法について話し合う会議を毎月行っています。それぞれの子どもたちのかけがいのない輝きを引き出し、はぐくんでいけるよう引き続き努力してまいります。

6 特色ある教育活動①日本の伝統・文化

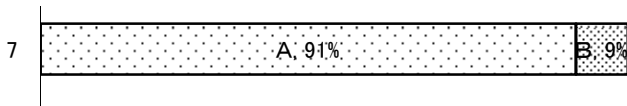
「こどもの日」などの年中行事や「お茶会」など、日本の伝統・文化を取り入れた教育を行っています。これらの活動は、幼児に日本のよさや四季の自然を感じさせるなど、豊かな



年中行事や日本の伝統・文化に触れる活動については、家庭ではできない経験である、知識だけではなく実際に体験することで学ぶことが多いというご意見をいただいています。1月には「初春の茶会」で保護者の方に実際のお茶の指導を経験していただきました。日本の伝統・文化に触れ、四季の美しさ、自然の豊

7 特色ある教育活動②園外活動

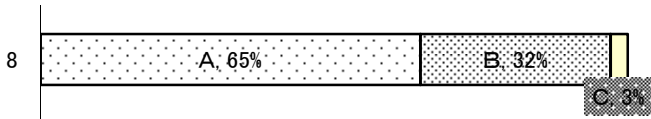
遠足などで園外に積極的に出かける体験活動を大切にしています。公共のマナーを守ろうとする心や自然とのふれあいを



公共のマナーを学び、守ることの大切さを体験できるよう、バス遠足だけではなく、電車遠足、西神田公園など近隣への園外保育を行っています。また、豊かな自然のある場所に遠足に行くこ

8 特色ある教育活動③地域との交流

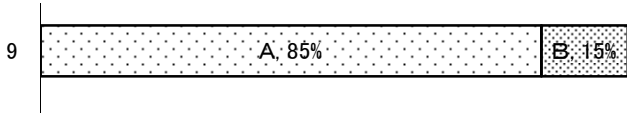
『お茶会』、『保育園との交流』、『高齢者センターとの交流』など、地域の教育力を取り入れた教育をしています。お子さんは、地域の方など様々な人とのふれ合いを楽し



西神田保育園や千代田幼稚園との交流を通して、同年齢の子どもとのふれあいを体験し、高齢者センターと交流で年長者に親しみをもてるようにしています。いろいろな人と触れ合うことで、子どもたちに人に対する優しさや思いやりを学んでいってほしいと思います。

9 特色ある教育活動④小学校との連携

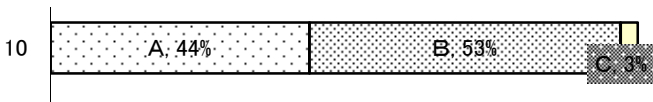
運動会・展覧会などの行事や、学年に応じた小学校全学年との交流活動をしています。このような行事は、幼児にとっ



1年生から6年生まで全学年との交流の中で、仲良しになったお兄さん、お姉さんができた子どもが何人もいます。小学生との交流を行うことで、子どもたちに「大きくなることへの憧れ」「小学生への親しみと憧れ」「小学校入学への期待感」を育てて

10 施設・設備・環境①

幼児の安全な生活のために、防犯カメラの設置、幼児が園内にいる時間帯の門の施錠などを行っています。また、登園時や公園で遊ぶ際は、公園の出入り口付近に職員を配置しています。幼稚園での安全対策は十分なされていると思います



Aが44%(半数以下)と一番厳しい評価をいただきました。危険を回避するために、安全対策職員の雇用、施錠の徹底、警察との緻密な連絡など事故未然防止策を行っています。より安心して子どもたちが生活できるよう、区とも連絡をとりながら改善を続けていきます。「保護者も降園後の遊びでは互いに声を掛け合って安全に気がつけた方がよい」というご意見もいただきました。大切な子どもたちの安



11 施設・設備・環境②

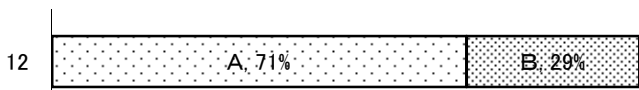
毎月、安全指導・避難訓練、年3回、不審者対策訓練を行い、安全に過ごすために必要な能力や態度を培うようにしています。幼児の安全に対する意識を培う機会になっていると



今年度は幼稚園公開で実際の避難訓練の様子も見ていただきました。避難訓練や安全指導は毎月欠かさず行い、年3回、警察と一緒に不審者対策訓練を行っていません。避難用滑り台の使い方も上手になり、どの学年も落ち着いて避難ができるようになってきています。日常の訓練をていねいに行っている

12 施設・設備・環境③

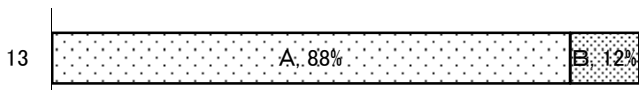
あき箱や紙等を遊びの素材に使うなどのリサイクル活動、水を大切に使うなどの指導を行っています。環境を大切にす



あき箱など回収のご協力をいただき、ありがとうございました。「家で、箱を捨てようとする『まだ使える』と子どもに言われます」という回答もありました。使う水の量に合わせて、水道の蛇口のひねり方を変えるとといった小さな指導の積み重ねが環

13 施設・設備・環境④

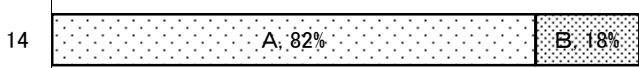
ウサギ・カメなど身近な動物の飼育やおひさまガーデンの



昨年度、年をとったウサギが2羽亡くなるという悲しい出来事がありました。今年度は、旧職員の幼稚園でウサギの赤ちゃんが生まれ、2羽、お茶の水幼稚園にいただくことができました。「タータ」「ニック」と名付け、時には、校庭で散歩もさせています。おひさまガーデン、テラス、錦華公園の自然をより一層、充実させていきます。親子ガーデンングでは保護者の皆様にご協力いただき、

14 開かれた幼稚園①

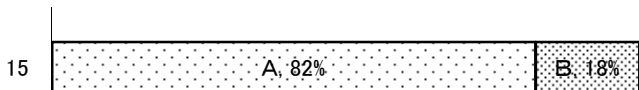
誕生会に保護者の方に参加していただいています。お子さんの誕生日を一緒に祝い、成長を感じる機会となっています



誕生会は、一人ひとりの子どもが主役になる大切な日だと考えています。保護者の方に参加していただき、お話を伺うことで、大人の方に愛されて生まれ育っていることが子どもたちに伝わっているように感じています。今後も引き続き、ご協力をお願いします。

15 開かれた幼稚園②

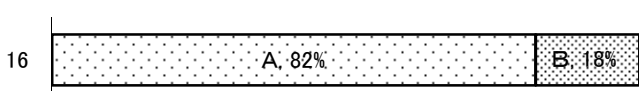
幼稚園公開日を3回実施しています。子どもの様子や育ち



幼稚園公開は年に3回実施しました。いろいろな保育の場面を見ていただけるよう工夫をしていますが、なかなか見ていただけない場面もあります。ご希望があればいつでも参観できます。どうぞ気軽にお声をおかけください。

16 開かれた幼稚園③

『ふれあいスポーツデー』を行っています。大人も子どもも体を動かしたり触れ合ったりする楽しさを感じることがで



ふれあいスポーツデーは、子どもたちと保護者が一緒に体を動かして楽しむ行事です。普段の保育の中で、子どもたちが楽しんでいる体を動かす遊びを一緒に楽しんでいただけるよう考えています。今年度は、あいにくの雨天でしたが、地域や保護者の皆様のご協力により、大人も子どもも

### 17 保護者①

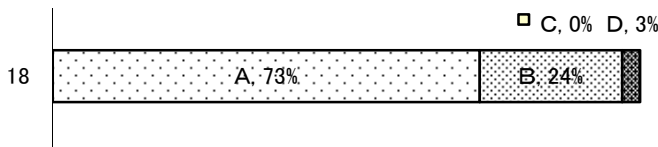
保護者同士が気軽に話し合い、保護者参加の行事などで協力



「予想以上に保護者の負担が多い」というご意見もいただきました。幼稚園では、各家庭によって事情が違うことを踏まえ、それぞれができる範囲の中で協力し合えることを基

### 18 保護者②

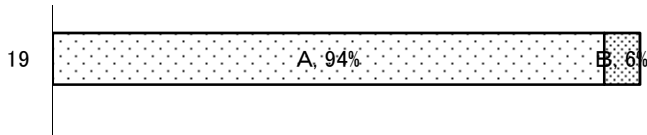
保護者の方には、わくわく縁日や餅つき会など様々な行事の運営に協力していただいています。このことが、幼児の園生活の充実につながり、保護者の園教育への理解を深める機会



保護者のご協力により、子どもたちは通常では経験できない行事の楽しさを感じることができています。保護者が主体的に運営する会があることを大切にしながら、それぞれの保護者の方に大きな負担感がないよう、協力の仕方については今後

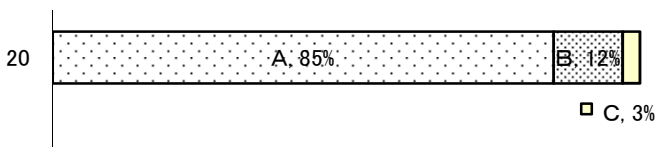
### 19 保護者③

園だより・学年だよりを発行し、保護者会・個人面談・教育相談・巡回相談員・スクールカウンセラーの活用などを行っています。このような機会が子どもの育ちへの理解の深まり



幼稚園からのおたよりや掲示している写真、担任話などから幼稚園の様子がよく分かるという嬉しい回答を複数いただきました。こまやかに一人ひとりの子どもの様子をお伝えし、ご家庭と協力していくことが、とても大切だと考えています。巡回相談員、スクールカウンセラーとも面談

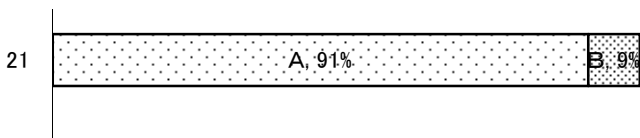
### 20 保護者④



ご家庭と幼稚園とが手をたずさえ、両輪となって。子どもたちを見守りはぐくむことで、子どもたちの本当のよさは伸ばされていくと考えています。Cというご回答もいただいています。より教職員と話しやすい体制づくり、機会づくりを行っていきます。お茶の水幼稚園では、全教職

### 21 保護者⑤

子育て支援として、預かり保育「わくわくタイム」を実施しています。子育てをする上で、支援となっていると思います



「わくわくタイム」は幼稚園の教育課程外の活動ではありますが、大切なお子さんをお預かりしていることにかわりはありません。安心して充実した時間を過ごせるよう努力を継続します。

この他に、自由意見として、ひよこルームをもっと活用しやすくしてほしい、園だよりの行事表を見やすくしてほしいなどのご意見をいただきました。幼稚園にかかわる全てのことに對して、より良くする方法を考え、改善していきたいと考えています。より良くするためのアイデアを今後も幼稚園にお寄せください。

